

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)11月 25 日
所 属 名:高島農産普及課
番 号:H25024
発 信 者 名:松尾、三溝、大崎

高島のオリーブの観光体験メニュー作成に向けた講演を企画しました！

11月10日に高島市オリーブ産地化推進協議会(事務局:高島市、以下協議会)は観光部会の会議に今津サンブリッジホテルの板倉支配人を招き、「高島オリーブの魅力を活かした観光体験メニュー」についてご講演いただいたのち意見交換を行いました。生産者や関係機関など17名の出席がありました。

高島市は、令和2年度からオリーブの栽培を推進し、現在 14 名の生産者が約 6.2ha で約 2,500本のオリーブを植栽されています(令和7年度4月時点の数字)。

昨年度協議会で策定した産地戦略の目標の一つに「オリーブ畑を起点に市内外の人々の交流」掲げており、この目標達成に向けて今年度設置した観光部会の持ち方について商工会に相談したところ、観光による地域活性化の実績が豊富で、近年赴任された高島でも様々な取組を展開されている今津サンブリッジホテルの板倉支配人をご紹介いただき、オリーブ特産化に向けた取組について賛同いただけたことから、今回の講演が実現しました。

講演では、支配人である板倉氏の今までのご経験や、現在ホテルで企画しておられる高島の食材や観光資源などの魅力を伝えるツアーなどを具体的にご紹介いただきました。ご講演により地域活性化のイメージが浮かんだところで、オリーブでどのような取組ができるかについて支配人を交え活発な議論が行われました。

次回会議では、来年度の具体的な企画について協議することになりました。

当課は、オリーブをきっかけに果樹園に人を呼び込む仕組みづくりの構築に向けて、生産者をはじめ関係機関とともに考えてまいります。



講演の様子